

町を縫う2026 in 伊根



2023年に宮津・与謝野・京丹後で
開催したワークショップ「町を縫う」*を、
今回は伊根町蒲入で開催します。
昭和30、40年代に織物業が盛んだった町を歩き、
見つけた「町の形」を布と糸を使って縫っていきます。
バスに乗って丹後半島を巡り、
織物文化を見守ってきた自然を感じながら、
伊根での「町を縫う」を楽しみませんか。



伊根町蒲入

日時

2026年 **10月18日** **日** **9:00-17:45**

かま にゅう

まち歩き：伊根町蒲入

会場：蒲入集会所

与謝郡伊根町蒲入1379

定員：15名程度(先着順)

対象：小学5年生以上どなたでも

お申込み・
詳細はこちら
お電話での
申込みも可



アーティスト

西尾 美也

にしお よしなり



1982年奈良県生まれ。美術家、ファッションデザイナー。東京藝術大学
美術学部先端芸術表現科教授。装いの行為とコミュニケーションの関係
性に着目したアートプロジェクトやワークショップを国内外で展開。
ファッションブランド「NISHINARI YOSHIO」を手がける。主著に『装い
は内破する』(左右社)、『美術は教育』(現代企画室)がある。

タイムテーブル

集合場所：京都府峰山総合庁舎 京丹後市峰山町丹波855

集合時間：8:45 (受付開始 8:30～)

●集合場所からバスにて会場に向かいます。(道中ガイドあり)

●ご希望の方は直接会場へお越しいただくことも可能です。(現地集合時間：9:45)

9:00 京都府峰山総合庁舎発

10:00-11:45 「町を撮る」まち歩きをしながら写真を撮る

11:45-12:45 休憩(昼食)

12:45-13:15 「町を振り返る」撮影した写真をみんなで共有

13:15-14:00 「町を切り取る」形・模様の切り出し、型紙作り

14:00-16:00 「町を縫う」町の形・模様を縫う

16:00-16:30 振返り

17:45 京都府峰山総合庁舎着(予定)

持ち物

スマートフォン(推奨)またはデジカメ(可)、飲み物、昼食、工作用ハサミ、布用ハサミ
(希望者にはお弁当を実費で用意します。詳細は申込みフォームをご確認ください。)

Kaico「町を縫う2026」出張ワークショップ

参加
無料

丹後地域で開催される各種イベントで
「町の形・模様を縫う」が体験できます。

対象

小学生以上

(申込み不要 短時間参加OK 最終受付 終了30分前)

京丹後 こまねこまつり2026

9月21日(月・祝) 10:00-16:00

与謝野

きものでぶらり♪ちりめん街道

10月18日(日) 10:00-15:00

京丹後

織センフェスティバル

11月1日(日) 10:00-16:00

※最新の情報はウェブサイト「KYOTOHOOP」をご確認ください

ほか

*「町を縫う」とは？

美術家の西尾美也氏が2014年に考案した、地域のまち歩きと布端材を活用したテキスタイルワークショップ。これまでに岡山、大阪などで開催。
丹後地域では、織物工場で眠っている「布」と「糸」を使用し、『丹後ちりめん』に縁深いこの地域ならではの取り組みとして展開している。

Kaico[カイク]：丹後地域において、蚕から生成される資源を大切にしてきたことを、なつかしく思い(懐古)、振り返り見る(回顧)ことで、思いがけない出会い(邂逅)を創造する文化活動。

主催 京都:Re-Search実行委員会(京都府、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、海の京都DMOほか)

お問合せ／お申込み 京都府丹後広域振興局 企画・連携推進課(担当：カイ)

E-mail a-08314@pref.kyoto.lg.jp TEL 0772-62-4300(月・木 9:00-12:00 13:00-17:00)

文に庁 助成 令和8年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業



詳細はウェブサイト
「KYOTOHOOP」をご覧ください。

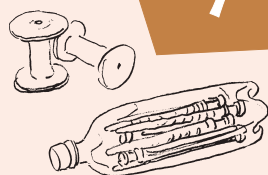




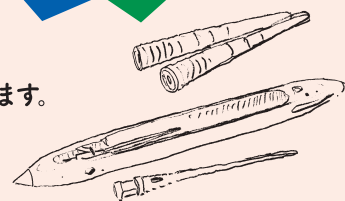
音気楽団

はた機 の妖精にきくー 2026 in NeoTAN
丹後オープンファクトリー2026

ワークショップ & パフォーマンス



丹後在住の世界的サウンドアーティスト鈴木昭男が楽団長となり、
機道具をつかって音の気配を表現する「音気楽団」。
2025年秋に披露したパフォーマンスの第2弾として新たに楽団員を募集します。
一緒にパフォーマンス「はたおと・あそび2026」に参加しませんか。



日時

2026年

10月31日 土 10:00 - 13:30

会場

丹後織物工業組合
特設会場

京丹後市大宮町河辺3188

定員：20名程度(先着順)

対象：小学生以上どなたでも

お申込み・
詳細はこちら
お電話での
申込み也可



タイムテーブル

集合場所：丹後織物工業組合TANGO OPEN CENTER前
集合時間：9:45(受付開始 9:30～)

10:00 ワークショップ「はたおと・さぐり2026」

12:00 楽団長 鈴木昭男と共に、機道具の音に耳をすませながら、
自分なりの音を探っていきます。

12:00-13:00 休憩(昼食)

13:00 パフォーマンス「はたおと・あそび2026」

13:30 ワークショップ「はたおと・さぐり2026」で見つけた表現を、
染色工場として使用されていた巨大スペースで披露します。

持ち物

飲み物、昼食
(希望者にはお弁当を実費で用意します。詳細は申込みフォームをご確認ください。)

アーティスト

楽団長

鈴木 昭男

すずき あきお



与謝野町在住。サウンドアーティスト。1960年代の〈なげかけ〉と〈たどり〉のコンセプト
による自修イベントの体験の中からエコー音器ANALAPOSを創作し、演奏活動を展開。
1987年、ドクメンタ 8 カッセルに出場。1988年、〈一日の自然に耳を澄ます〉「日向
ぼっこの空間」を、日本標準時子午線の通る京丹後市網野町の山中で遂行。1996年、
ベルリンで発表した巷に耳を澄ます「点音 o to da te」を、世界各地で継続している。

旅の踊り子(ゲスト出演)

宮北 裕美

みやきた ひろみ



与謝野町在住。アーティスト。イリノイ大学芸術学部ダンス科卒。舞台芸術の出演や
振付を経て「立つ、歩く、座る」と言ったシンプルな動作、身の回りのモノや現象に
ダンスを見出し、即興パフォーマンスや視覚芸術の可能性を探る。2012年より丹後
半島に拠点置き、浜で採集した自然の石を打つダンス「Nutu(ヌトゥ)」を創始、
国内外で上演。近年は公共の場や自然環境などで様々なパフォーマンスを手がける。

音気楽団 パフォーマンス

「はたおと・あそび 2026」へご招待!

パフォーマンス「はたおと・あそび2026」はどなたでも観覧可能です。
丹後織物工業組合の旧染色工場に隠れた機の妖精と共に
「音気楽団」が奏でる音とパフォーマンスに出会いにお越しください!

2026年 10月31日 土 13:00-13:30(出入り自由)

会場：丹後織物工業組合特設会場

観覧
無料



「音気楽団」2025の
様子はこちら



NeoTANとは?

10月30日(金)～11月1日(日)に京丹後市、与謝野町、宮津市で開催される、丹後地域の工場や田畑、町並みをひらく3日間のイベント。
丹後の「おどろき」を体感する、地域一体型オープンファクトリーです。(主催：丹後オープンファクトリー実行委員会)